



## 第 56 回 『出生がもたらす神経幹細胞ダイナミズム

### ～早産児脳障害の新たな病態が明らかに～』

演者：川瀬 恒哉

Biotech Research & Innovation Centre (BRIC), University of Copenhagen

日時：2025年11月19日（水）

17:00～18:00

場所：Zoom 開催

ID : 815 8860 7550

Password : 448536



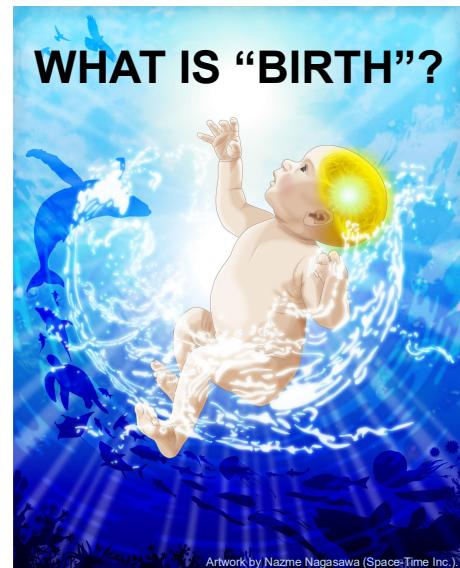
「出生」は生体にとって最大のライフイベントです。子宮内から子宮外へと環境が変化することによって、生体にはさまざまな代謝変動が引き起こされます。しかし、出生というイベントが生体の発達過程においてどのような意義をもつのか、その多くは謎に包まれたままです。

哺乳類の生後の脳には、脳室下帯とよばれる領域に神経幹細胞が存在し、生後もニューロンの產生が続いています。我々は、メタボローム解析・シングルセル解析などの最先端技術を用いて、出生によって神経幹細胞に生じるグルタミン代謝変動が、生後の神経幹細胞の静止化獲得とその後の維持に重要であることを見出しました。さらに、出生が早まる早産では、このプロセスが異常となり、結果としてマウス・ヒトとともに生後のニューロン新生が低下することが明らかになりました。

本セミナーの開催 2 日前（11 月 17 日）は“世界早産児デー”として制定されています。現在世界では約 10 人に 1 人が早産児として出生しています。本セミナーでは基礎・臨床の垣根を超えて、「出生」とは何か、「早産」によって何が起きるのか、について皆様と議論できればと思います。

Kawase et al. Sci Adv, 2025

Takemura, Kawase et al. Cell Rep, 2025



お問い合わせ：医学研究科脳神経科学研究所神経発達・再生医学分野 久保山和哉  
kuboyama@med.nagoya-cu.ac.jp

